

# 私たちの活動を紹介します

米子市

## 寺子屋サロン

<代表>伊藤 紀子さん（現就職夫人）

<連絡先>本ページ右下

<設立>平成 14年 5月

<会員> 25名

<活動内容>手芸・踊り・バス遠足・各種講座など

<活動日>毎週水曜日の午前9時半から11時まで



バス遠足「春の中国山地満喫ツアー」（新庄村がいせん桜通り）

### 先代住職夫人の「母のお手本」があったから

迎接院寺子屋サロンは、お寺の書院を地域に開放し、檀信徒に限らずどなたでも参加いただけるサロンです。開設のきっかけは、敗戦で物資の乏しい時に、お寺の縁側で近隣の方に、ふかし芋と番茶をふるまい、楽しくおしゃべりする母の姿を思い出したことから。戦後 60 年が経ち、同じように近所の方をお誘いしたところ、喜んで集まれたことから、先代住職と住職夫人ならびに、現住職が開設しました。

開設当時から、民生委員や各種団体、在宅支援センター（現包括支援センター）等多くの方に支えられています。

### 地域で暮らす「ともいき」の場として

サロンでは、手芸や踊り（施設慰問や催しにも出演）、バス遠足や各種講座など、多様な活動を取り入れています。年齢を重ねながら活動できる楽しさと、一緒に過ごす喜びと、福祉や各現場の方とのつながりを持ち、安心して地域で暮らす「ともいき」を実感できます。ここ 3 年間はコロナ禍とあって、慰問公演はできませんでしたが、代わりにお寺の Facebook で「寺子屋ちゃんねる」のオンライン配信を楽しみました。

### 踊りと銭太鼓!



オリジナルの振り付にも取り組んでいます。曲に合わせて身体を動かすと、歌声と笑顔の輪が広がります。

また、「寺子屋に行くと楽しいわ」と、お一人お一人に笑顔になっていただけるよう、全員にでき、達成感を持てる内容に工夫しています。活動中には、「手伝ってくれて、ありがとう!」「役に立てて嬉しい!」と、助け合いや協力が自然に生まれます。

### 歳を重ねながら、地域でつながる「ともいき」の輪

出会った頃はお互い顔も名前も知らなかった皆さん。サロンの中で仲良くなって、地域に心安い友だちが増えていきます。人生の晩年に、ともに生きる仲間ができるのが、大きな魅力です。

お寺が「一緒に歳を重ねながら、地域で暮らす『ともいき』の場」であることの豊かさを大切に、この活動を続けていきます。また、先立たれた方も一緒にくださっていることを感じ、生死を超えて続くのが、寺子屋サロンの「ともいき」です。

感染症も収まってきたので、4月からバス遠足や催し物への参加も再開し、6月には地域の芋代官祭に参加して踊りを披露しました。

どなたでも気軽に♪参加いただける寺子屋サロン。月会費は500円です。

あなたも遊びに来ませんか？

さあ、毎週水曜日は寺子屋サロンですよ！

あなたの暮らしにも、豊かな笑顔を!

連絡先 紫雲山 迎接院

<TEL & FAX> 0859-29-0809

<所在地>米子市夜見町 2606 番地